



私たちの

# 町議会 びらとり



A.P.

m. kodama

● 作：こだま みわこ氏  
川向在住  
( 版 画 )

今期の抱負	P 2
ここが聞きたい一般質問	P 4
委員会報告	P 6
行政報告	P 7
審議した議案	P 8
新しくなった議会の構成	P 9
あの人に聞く	P 10

**vol.116 2023.8.4**

# ～ 今 期 の 抱 負 ～



議長  
たかやま おさむ  
高山 修

町民の皆さまと議会・行政が一体となり、「住み慣れた地域で、暮らし続けるまちづくりを目指して」を目標に議会活動を進め、人にやさしいまちづくり、住民参加のまちづくり、行政改革、子育て支援、障がい者理解などを形にしていく議員活動を積極的に取り組んでいきます。皆様の声の代弁者として町民の意思を的確にとらえ行政と建設的な議論の中で町政に反映させることが期待されており、透明性の高い開かれた身近な議会を目指し、誠実・公正に活動していきます。



副議長  
しの^ まさひこ  
四戸 正彦

平取町議会に於いて改革論議がありました。しかし、抜本的な改革は進んでいません。これまでの議会改革は政治改革としてではなく行革の一環として議員の減数など、「量的」な面の改革が主でした。これからは、政治改革としての議会改革が大きな流れになると思います。どうしたら民意を鏡のように反映できる議会とされるか、町民の皆さんの立場にたって取り組んでいきたいと思ひます。

平取町の人口減少に歯止めがかからない状況が続き、産業厚生常任委員長として、農地に大きな転換期の問題、高齢化が進むなかでの福祉施設の重要性、そして持続可能な地域医療提供体制を確保するためにも公立病院経営強化プラン策定の取り組みと、課題は更に山積みです。そのためにも委員会の活性化を図り、今まで以上に各議員達と議論を重ね、より良い町づくりを目指して努力致します。

議会運営委員長  
議会広報広聴  
常任委員長

まつざわ いくこ  
松澤 以久子  
議員



早、5期目になります。4期目はコロナの影響で多くの活動・行事が中止・縮小され皆様とお会いすることも減り寂しい思いでした。その中でもできることを工夫しながら活動し、何とか切り抜けてきました。その蓄えたパワーを思い切り吐き出し、議会のことを理解していただく努力をして行きたいと思ひます。そして、町民・行政・議会3つの力で「心豊かな町づくり」を目指していきます。

議員3期目に入り総務文教常任委員長に選任されました。昨年12月の議会定例会で町民の請願が採択された「平取国保病院に人工透析病床の実現」を進めることがなによりも大切と考えています。次に2019年に成立したアイヌ新法により「アイヌ交付金事業5か年計画」が大きな成果を上げています。2024年からの次期5か年計画がより良いものになるように努力したいと思ひます。

産業厚生  
常任委員長

なかがわ よしひさ  
中川 嘉久 議員



総務文教  
常任委員長

いざわ としろう  
井澤 敏郎 議員



# 平取町議会議員新体制

近年は人口減少による様々な弊害を実感しているのが現状です。出産子育て支援を柱に産業の更なる振興と就労人口の確保についてどの様な方策が必要なのか、町議会議員の原点に戻り、他町村の事例等を調査しながら様々な提案をして参ります。また行政や議会に対する関心の低下や議員のなり手不足解消など議会改革についても誠心誠意取り組んでいきます。

きむら ひでひこ  
木村 英彦 議員



子育て支援の充実と、高齢化が進む中で包括支援を中心に医療・福祉・介護との医療連携の充実が急がれており、住民の多くの方が訪問診療を求めている、また国保病院で人工透析を受けることを強く望んでおり、先の議会において請願が採択されたことから透析患者の代弁者として、早い時期に設置するように求めています。安心して暮らせる地域医療を目指して積極的に議会活動を行っていきます。

今、平取町の問題は山積しています。町民の人口減に伴う税収減や行政サービスの低下、公共交通機関の減便による町民の足の確保など町をとり巻く環境は大変厳しい状況です。町民、行政、議会が情報を共有し知恵を出し合いながら進めなければなりません。無投票が続く議員のなり手不足も問題です。町民の皆さんと議論しながら魅力ある議会づくりにも取り組んでいきます。

ちば よしのり  
千葉 良則 議員



かなや みつる  
金谷 満 議員



かやの ひさひこ  
萱野 久彦 議員



さきひろ ひでき  
崎廣 秀樹 議員



私は平取町が好きです。その町も今、少子高齢化、人口減少と言う問題にありこの先四千人を割るのも間近に思えます。対策を立て人口維持できるように若者には魅力ある職を、子ども達には安全と充実した教育と楽しい思い出の残る故郷作り、高齢者には安らぎのある町作りを考えたいと思います。行政の事も色々な事も沢山勉強することがあります。先輩議員に学び早く活躍出来るよう頑張ります。

「住み続けられる まちづくりへ」を訴え、今回初めての挑戦をいたしました。故郷を想う気持ちは人一倍であります。新人として謙虚に議会で働いてまいります。住んでいる人の力で地域経済に活力を取り戻したいと思っております。地元で採れたものを地元で活用する「地産地活」、住んでいる人が働いて得た所得を地域で循環させる「循環型社会」の実現、公平で公正、納得性のある政治を目指してまいります。

# ここが聞きたい一般質問

※この文章は一般質問した議員本人が要約し、作成しております。  
 質疑応答の全文は平取町ホームページの平取町議会会議事録をご覧ください。

## 千葉 良則 議員

### 平取町国民健康保険病院の

### 運営と今後の取り組みについて

**問** 遠藤町長の公約であった国保病院の改革について、就任から約3年経過しましたが、未だに具体的な取り組みに至っていないのが現状です。以前から町民の要望が多い訪問診療の実施に向けた取り組みと考える方について伺います。

**答** (町長)

訪問診療の町民要望については非常に大きなものがあると感じております。現在は医師3名体制で外来、病棟、救急対応となるので、具体的に訪問診療を始めるには平日午後いずれかの曜日となりますが、地域連携室を窓口として対応していくのが適切な方法と考えています。今後は体制整備に努力して行きますが、もう少し時間を頂きたいと思えます。

**問** 訪問診療と在宅ケアを一体化して取り組む考えは無いのでしょうか。

**答** (町長)

包括的なサービスを提供すると言う意味では欠かせないと思っております。訪問診療を始めるにあたっては、全体的なケアも含めて平取福祉社会とも協議をさせて頂きたいと思えます。

**問**

昨年12月議会定例会で請願が採択された人工透析の実施について、コストを縮減し改善策を講じて再調査する必要があると思えますが、町長の見解を伺います。

**答** (町長)

透析室の開設を求める請願については患者家族会の要望もあり、切なる声を真摯に受け止めています。付帯意見もあり病院経営に大きく関わるものなので実効性、実証性の高い改善策となる様に、全体の医療の在り方も検証しながら進めて行きたいと思えます。

**問** もし実施するとしたら、と言

う立ち位置で詳細を調査する考えでなければ実現は難しいと思えますが、もう一度原点に返り最終判断をさせて頂きたい。

**答** (町長)

国保病院の経営の在り方や地域医療に対する姿勢など全体を含めて人口透析の実施が可能かどうか最終的には色々な意見の中で判断する考えです。



△平取町国民健康保険病院

## 松澤 以久子 議員

### 平取町住環境の整備

**問** 平成24年にも、平取町住環境の整備について一般質問をしました。平取町民間賃貸住宅等建設促進事業により、住宅不足は改善されつつあると思えます。そこでその事業を改正し一戸建て・従業員宿舎・教職員住宅等建設事業者にも適用出来ないか。また、町有地に建設する場合の条件も検討しては如何か。

**答** (まちづくり課長)

平取町の賃貸住宅建設に対する助成は、上限額等が他の自治体より高くなっており、制度改正では対応できない可能性があるため、別に要綱の制定をするべきか等、今後検討します。

教員住宅については、昨年度の総合計画外部評価委員会から「集約化による利便性向上」「民間賃貸の活用」を視野に入れた検討を行うべきという意見を頂いています。



また、町有地を提供して賃貸住宅等の建設促進を図るといふご意見は、事業者と町に利点がある事業になるよう今後検討していきます。

今年度「平取町住生活基本計画」の策定に取り組み、根拠のある住宅の適正配置を確立予定ですので、いずれの事業もその中で検討してまいります。

**問** みどりが丘の公営住宅建て替えにあたり、状況変化等により住替えを希望しない方がいた為、公営住宅等の配置適正化を検討すべきですが、跡地利用を含めて、今後の進め方を伺います。

**答** (建設水道課長)  
公営住宅等長寿命化改良策定業務の中で子育て住宅、高齢者住宅、災害対策住宅、農業等就労者住宅、公営住宅等の建て替え、取り壊しや用途変更による計画と併せまして、町有地の活用を含めた民間参入のしやすさなどの可能性についても、前向きに検討していきます。

## 崎廣 秀樹 議員

### 「ゼロカーボンシティ宣言」の取り組みについて

**問** 昨年12月15日のゼロカーボンシティ宣言について、この宣言に至った経過と先日プレゼンの結果について伺います。

**答** (町長)  
近年、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加を起因とする地球温暖化が進んで、今や地球温暖化防止への対応は世界の共通認識として優先度の高い政策です。町民が健康で安心して暮らし続けられるようにと考えました。

**答** (まちづくり課長)  
5社からプロポーザルにより、地域脱炭素実現に向けた計画づくりを、基礎地盤コンサルタンツ(株)北海道支社と、1272万7000円で契約、委託期間は令和6年1月23日までに完了しました。

**問** 委託完了日が1月23日であれば新年度予算にどのような形で、事業予算を反映できるのか。

**答** (まちづくり課長)

事業内容からも時間がかかり、当初予算の編成を見込むと、予算編成にはかなり厳しく、委託期間中に同時並行で進めざるを得ません。

**問** 現在の当町の予算編成の進め方では、町長が考えている次年度に対する政策の思いが十分に現場職員に伝わるのか疑問です。最近多くの自治体で行っている方法で予算編成作業の前に、職員を集めて町長の考えを周知する場を設けたらどうでしょうか。

**答** (総務課長)  
基本的には総合計画で行っておりますが、理事者から指示があれば対応いたします。

**問** 今回のゼロカーボンの取り組みに対して、職員の理解増進や住民意識または企業意識の向上に向けた取り組みは大事と考えますが、どの様に進めますか。

**答** (まちづくり課長)  
職員に向けては推進会議を設けて取り組んでおります。企業や住民向けには、実行計画策定に当たって住民アンケートや事業者へのヒアリングを行います。

## 地域循環型経済社会の

### 実現に向けて

**問** ※ RESSAS(リーサス)の活用による、現在の町内の経済状況について、どうであったのか。

**答** (観光商工課長)

RESSASでは、平取町内全体で303億円の分配額となっており、そのうち55%となる167億円が地域内で循環しておりますが、残りの45%にあたる136億円が町外へ流出していると試算されております。

**問** 地元購買という言葉が以前は多く使われたと思います。最近は少なくなつたような気がいたします。町長は商工会の総会で、地元商店街の元気が地域のバロメーターだといふふうに言われておりますが、町長の思いをお聞かせください。

**答** (町長)  
私としても地元購買、いわゆる地域の中でお金が循環するということとは地域経済活性化にとって、大きな要因になると思っております。取り組みを双方で一緒に一生懸命やらせてもらうような機会を多くつくりたいと思っております。

**問** 価格や選択において、販売する側の力量の課題など悩ましい課題が色々とあります。町を維持していくためには持続可能な地域経済が大事です。課題解決のために勉強会が町民を交えた協議会など、そのような場が必要ではないかなと考えますが如何でしょうか。

**答** (観光商工課長)

地域内で経済を循環していくということは、非常に重要なことと捉えております。商工会とも連携し、その中で研修会なのか協議会が良いのか、また、まちづくりとしての課題という視点を持ち、関係機関とも連携を図りながら、検討する場を作っていきたいと考えております。

※REASAS(リーサス)とは

産業構造や人口動態、人の流れなどの官民ビッグデータを集約し可視化する「地域経済分析システム」。経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供している。



**総務文教産業厚生  
合同常任委員会**

5月18日開催 協議・報告事項

◆電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金事業について  
生活者及び事業者支援のための12事業を実施します。

Q 福祉施設、公衆浴場施設の燃料支援で額を重油1ℓあたり4円とした根拠は。  
(千葉)

A 石油情報センターの価格調査に基づき、令和4年度と令和3年度の価格差8.9円の2分の1で4円としています。  
(観光商工課長)

◆振内中学校の現在の状況について  
令和6年度から複式学級となる見込みであり、今後、保護者や地域と意見交換できる組織づくりを行う予定です。

◆町有バスの運行に伴う予算の補正について  
運転手不足のため道南バスが運行管理業務を受託できなくなったこと

から町直営とし、そのための補正予算を計上します。

◆森林環境譲与税を活用した私有林整備推進について  
本年度の作業路整備計画箇所を現地調査した結果、計画変更の必要があったことに伴い予算の補正を行います。

◆新型コロナウイルスワクチン接種について  
特例臨時接種期間が令和6年3月末まで延長されたことから、6月6日以降、65歳以上をはじめとして、順次接種を行います。

◆今年度の各委員会事務調査事項について確認及び決定をしました。

**産業厚生常任委員会**

6月2日開催 協議・報告事項

◆低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金について  
食費等の物価高騰に直面し、影響を受ける低所得の子育て世帯に対し

その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から特別給付金(令和5年度町民税均等割が非課税の子育て世帯、児童一人当たり一律5万円)を支給します。

◆平取福祉会に対する支援について  
令和4年度デイサービスの決算で発生した赤字のうち、コロナウイルス感染症の影響による収入減少は不可抗力として、減少額の一部について町が補助します。

・令和4年度このころのホームふれな이의決算では、新たに看護師を配置したこと等による人件費の増で赤字が発生し、その一部について町が支援を行います。

・このころのホームふれないで1ユニット(9人)増設に係る支援として、備品等を購入するための費用を補助します。

Q 2ユニットに増やすことによる赤字額も倍になるのでは。  
(木村)

A 稼働率を高めるための連携・調整をスムーズに図りながら、今後、利用者負担の増額等を考え平取福祉

会とも協議してまいります。

(保健福祉課長)

**Q** 2ユニットに対応するための

人材確保に向けた対策は。(四戸)

**A** 外国人人材の登用も含め人材

確保のための各種支援制度等活用

し、対応していきます。(町長)

**◆**ふるさと納税等アドバイザリー業務委託について

ふるさと納税をはじめとする平取町の物産、観光の対外的なPRの推進や人口減少対策を含む町政活性化の知識やノウハウを有する専門事業者にアドバイザリー業務を委託して、先進事例に関する情報提供や助言をいただきながら、施策立案機能の強化や効果的な事業の実施を図ることを目的としています。(業務委託料、1100万円)

**Q** アイヌ工芸品の返礼品について

では、高価で伝統的な作品のほかに、アクセサリーなどの普段使いでできる作品を考えてみては。(松澤)

**A** 高価なものになりますと寄附額もかなりの金額になります。例えば10万円のイタですと、寄附額は

30万円以上となります。寄附額の3割以下という返礼品の制約がありま

すので、寄附額に合う返礼品という

ものも考えていきたいと思えます。

**◆**平取町観光協会の拠点について

これからの当町の観光ビジョンや事業推進方策にのっとり、拠点の在り方について、さらに時間をかけて整備検討が必要だという判断をさせていただきました。拠点の整備については、場所等も含めて関係機関や観光協会とも協議いたしまして、議会の意見等もさらにいただきながら進めさせていただきます。(町長)



## 総務文教常任委員会

6月5日開催 協議・報告事項

**◆**町税の不納欠損処分について

規定に基づき欠損処分とする町税は17件22万7300円となります。

**◆**平取高校の魅力化・存続に係る取り組みについて

これまでアンケートの実施や高校との打ち合わせ、有識者との面談を重ねてきており、昨年11月に立ち上げた「平取高校の魅力化を図り存続させる会」での検討やフォーラムの開催など、地域住民にも取り組みを広げています。今後の方策として、総合的探究の時間を活用し「ダイバーシティを学ぶ高校」と特徴づけ、中学校へのアプローチや全国募集とその受け入れ体制の整備を行います。

**Q** 存続に向けては、中学生へのアプローチが一番大事だと思うが。

(金谷)

**A** 内部進学率は20数%、地元高校への進学は4分の1ほど。これを高めるため、教育委員会とともに平

取高校の魅力を訴えていきたい。

(まちづくり課長)

※ダイバーシティとは

日本語で「多様性」。企業で人種・国籍・性・年齢を問わずに人材を活用すること。

**◆**令和5年度アイヌ政策推進交付金事業について

令和5年度に交付金を活用して行う予定の事業は22事業3億5300万1000円となっています。

**◆**令和4年度町有バス運行業務に係る委託料の未払金197万2134円が発覚し、これを支払うための補正予算を計上する予定です。陳謝するとともに、再発防止に努めます。

## 行政報告

令和5年6月11日18時55分頃浦河沖を震源に発生した地震については、町内で震度3〜4が観測されましたが、調査の結果、貴氣別町民センター、沙流川歴史館で一部破損があったものの、他に大きな被害はありませんでした。

# 教育行政報告

令和5年度の児童生徒数は329名、町単独採用の支援員を13名配置し、新たな職員体制のもと、積極的な信頼関係の構築に努めています。

コロナウィルスの5類移行により小中学校では、換気や手洗いなど日常的な対応は継続し、また来賓を呼ばず保護者のみでの学校行事をスタートさせました。

公設塾平取義経塾、放課後子ども教室及び小学生の体力づくり教室を例年通り開設しています。

高齢者大学の活動や各教育関連施設の開館状況は、ほぼコロナ禍前と同様となり、来館者も増えています。

また、次の4点を平取町文化財に新たに指定しました。

- (有形) アットウツアミソ (樹皮衣)
- (有形) イタ(盆) (故貝澤守幸氏作)
- (無形民俗) アットウツの制作技術、イタの制作技術 (二風谷民芸組合)

# 審議した議案

## 第3回 臨時会

令和5年  
5月12日

4月の町議会議員選挙後の初議会が招集され、正副議長の選挙、各委員会委員の選任などが行われ、別表のとおり新しい議会構成が決まりました。

▼正副議長選挙

○議長 高山 修

○副議長 四戸 正彦

▼議会選出監査委員の選任

千葉良則議員の選任に同意しました。

▼専決処分報告

①平取町税条例等の一部を改正する条例

②平取町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

## 第4回 臨時会

令和5年  
5月25日

▼固定資産評価員の選任

三浦明德氏(本町)の選任に同意しました。

▼一般会計補正予算(第1号)

コロナウィルスワクチン接種業務、作業路整備事業、プレミアム付き商品券発行事業、町有バス運行業務直営化、2671万8000円を追加。

## 第5回 定例会

令和5年  
6月22日

▼監査委員の選任

三浦繁春氏(苧菜)の選任に同意しました。

▼農業委員会委員の選任

次の10名の選任に同意しました。

- 山田慶一氏(紫雲古津)
- 垂柳忠氏(苧菜)
- 坂本秀司氏(苧菜)
- 原田和枝氏(苧菜)
- 水谷忠幸氏(本町)

宮入司氏(貫気別)

笠山茂樹氏(旭)

菅野久彦氏(長知内)

藤江一博氏(振内町)

奥村好志氏(振内町)

▼固定資産評価審査委員の選任

藤田実氏(紫雲古津)の選任に同意しました。

▼辺地に係る総合整備計画の策定について

5辺地(川向、苧負、長知内、貫気別、岩知志)に係る総合整備計画策定を議決しました。

▼一般会計補正予算(第2号)

平取高校の魅力化を図り存続させるための事業(費用追加)、電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金事業、平取福祉会運営費補助金、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業ほか  
6842万2000円を追加。

▼陳情

連合北海道平取地区連合会より次の4件の陳情が提出され、それぞれ委員会付託となりました。



○地方財政の充実・強化に関する意見書の採択を求める陳情

○義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書の採択を求める陳情

○道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書の採択を求める陳情

(以上、総務文教常任委員会付託)

○2023年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の採択を求める陳情 (産業厚生常任委員会付託)

## 新しくなった議会の構成

議長	高山 修	副議長	四戸 正彦	監査委員	千葉 良則
名称	委員長	副委員長	委員		
議会運営委員会	松澤 以久子	木村 英彦	井澤 敏郎	中川 嘉久	四戸 正彦

### ●常任委員会●

名称	委員長	副委員長	委員		
総務文教常任委員会	井澤 敏郎	崎廣 秀樹	金谷 満	千葉 良則	四戸 正彦
産業厚生常任委員会	中川 嘉久	萱野 久彦	松澤 以久子	木村 英彦	四戸 正彦
議会広報広聴 常任委員会 (※議長除く9名)	松澤 以久子	中川 嘉久	井澤 敏郎	木村 英彦	金谷 満
			崎廣 秀樹	萱野 久彦	千葉 良則
			四戸 正彦		

### ●特別委員会●

名称	委員長	副委員長	委員		
アイヌ総合政策推進 特別委員会	金谷 満	萱野 久彦	井澤 敏郎	松澤 以久子	木村 英彦
日高山脈襟裳国立公園化 特別委員会 (※議員全員)	木村 英彦	中川 嘉久	井澤 敏郎	松澤 以久子	金谷 満
			崎廣 秀樹	萱野 久彦	千葉 良則
			四戸 正彦	高山 修	

### ●一部事務組合●

胆振東部日高西部衛生組合議員	崎廣 秀樹	千葉 良則	
日高西部消防組合議員	松澤 以久子	萱野 久彦	四戸 正彦
平取町外2町衛生施設組合議員	井澤 敏郎	中川 嘉久	金谷 満

名称	会長	副会長	理事	監事	事務局長
森林・林業・林産業活性化 平取町議会議員連盟	中川 嘉久	木村 英彦	萱野 久彦	四戸 正彦	松澤 以久子
平取町軽種馬産業活性化 議員連盟	崎廣 秀樹	井澤 敏郎	金谷 満	千葉 良則	萱野 久彦

～あの人に聞く～

# 認定こども園バチラー保育園の お2人にインタビュー～



園長  
たかはし くみこ  
高橋 久美子さん

私が幼い頃通っていたバチラー保育園は、平取村消防会館を買収して昭和24年8月に開園式を行った建物でした。ホールの真ん中には大きな円柱があり2階から1階にかけてすべり台があり、滑っておりるとトイレに到着という作りでした。その後、沢山のの方々のご支援もあり、昭和47年11月に新園舎落成を迎えました。そして私も今度は保育士として昭和50年より働き始めました。あっという間の48年が過ぎ去り現在は園長として仕事をしています。

園舎も50年近くたち老朽化も激しく何とか子ども達のために建て替えてあげたいと考えるようになりました。そんな時遠藤町長様より町の土地を使ってはどうかといううれしいお話をいただき建築を計画して何とか建てることになりました。園長としての残りの日々は、子ども達、保護者のために楽しい園生活を心がけていけたらと思っています。

私がバチラー保育園に勤務したのは、平成3年の春、今から32年前になります。年長児1年間を通園し、卒園した自分の園に、今度は保育士として戻ってこれた事は、とても嬉しく感じたものでした。また、子どもの時にお世話になった保育士の先生方もいて、その方々と一緒に働くことになるとはまるで夢の様でした。勤め始めた頃、子ども達の人数は120名を超える程、沢山いましたが、今では63名しかいません。卒園していった子の中には、今では親となり、その子ども達が入園してくるようになりました。そんな子ども達を見ると、「あーお父さんや、お母さんの子どもの時に似ているなー。」とくすくす笑うことも、たびたびあり、親子2代に渡ってお世話出来る喜びも、ひとしおです。次はとうとう、三世代になってしまうのかも！？と今からドキドキワクワクしています。長くこの仕事に携わり、良かったと思う事は、大きくなった子ども達に「みきせんせい！」と声を掛けてもらえる事です。これからも沢山の子ども達の声が聞こえる事でしょう。それらを楽しみにしてまた、明日一。



主任 保育士  
やなぎはら みき  
柳原 美樹さん



▲建て替えを機に認定こども園になりました。